

1 授業の実際

授業校

高洲第四小学校

指導者

菊地 恵李

(1) 単元名 うれしくなる言葉 (国語)

(2) 本時の目標 (◇教科等 ☆キャリア教育)

◇☆言ってもらった人がうれしくなるようなほめ言葉を考えている。

(◇国語への関心・意欲・態度) (☆課題対応能力)

☆うれしくなる言葉をかけられた際に、自分が認められている場があると気付く。

(☆自己管理・自己理解能力)

☆うれしかった言葉やほめる言葉について話し合っ、まとめている。

(☆人間関係・社会関係形成能力)

(3) 本時の展開 (1 / 9)

学習活動	指導や支援の手立て 評価 (◇教科 ☆キャリア教育の視点)
<p>○心に残っている「うれしかった言葉」を思い出して、どんな言葉だったかを簡単に発表しあう。</p>	<p>○数人を指名し、どの言葉もうれしくなっていることを認めて意欲を高める。</p>
<p>うれしくなることばについて考えよう。</p>	
<p>○「うれしかった言葉」がどんな言葉だったか、その時どんな気持ちになったのかを学習シートに書き、交流する。</p> <p><場面></p> <ul style="list-style-type: none"> ・親や教師にほめてもらった時 ・友達に励ましてもらった時 ・友達に慰めてもらった時 <p><言葉・気持ち></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がんばっているね」「すごいね」 ・「えらいね」「上手だね」「ありがとう」 ・うれしい気持ち・心がくすぐったい感じ ・少しはずかしいけどうれしい気持ち <p>○言われた人がうれしくなるような「ほめ言葉」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的にほめてもらっている。 ・心をこめて言ってくれている。 	<p>○どうしてうれしかったのかを考えさせるために、どんな時の言葉が多いかを発問し考えさせる。</p> <p>○説明が苦手な児童には「この言葉はほめられた時だね」と個別に言い換えて声をかける。</p> <p>○「ほめ言葉」に焦点を当てるために、「うれしくなる時はいろいろあるけれど、やっぱりだれかにほめてもらった時の言葉は強く心に残っているね。」などと声をかけ、挙がってきたうれしかった言葉の中から「ほめ言葉」について考えることを伝える。</p> <p>☆うれしかった言葉を思い出し、その時の気持ちを整理している。(☆自己管理・自己理解能力)</p> <p>○具体的に言ってもらえるとよりうれしくなることに気付かせる。</p> <p>○否定的な考えにならないように、「こう言われたら嫌だ」などの意見はその場で認めた後、「どうしたらうれしくなるか」考えさせる。</p> <p>○今まで集めてきた「くわしくする言葉」も使える</p>

<p>○黒板に掲示した絵を見て、絵をほめる言葉を学習シートに書き、発表しあう。</p> <p>○教科書をもとに、学習の計画を立てる。</p>	<p>ことに気付かせる。</p> <p>○掲示する絵は、その時期の実態に応じて、教科書の絵か教師の絵、児童の絵を選択する。</p> <p>◇うれしかった言葉を思い出し、うれしくなるよう☆な言葉を具体的に考えている。(☆課題対応能力)</p> <p>☆うれしかった言葉やほめる言葉について話し合っ て、まとめている。 (☆人間関係・社会関係形成能力)</p> <p>○「うれしくなる言葉」をたくさん集めていくことを知らせる。</p>
--	---

2 成果と課題

(1) 成果

- 道徳・国語・学級活動の教科・領域を複合して行うことができた。
- 前複合単元(お手伝い)に関連して、本単元を複合化したことで、学習につながりができ、子どもの意欲を高めることができた。
- 国語の「うれしくなる言葉」の単元にキャリア教育の視点をあてることで、自己有用感を高めることができた。
- 道徳で「保護者からの感謝の手紙」をもらったことで、うれしかった言葉を思い浮かべやすくなり、発言や学習シートへの書き込みが増えた。

(2) 課題

- 道徳で使用した「保護者からの感謝の手紙」を全員が机上に置いておくことで、具体的な言葉を引き出すことができたと考える。
- より具体的に考えさせるために、学習計画と発問の工夫が必要である。

3 本部会における小学校における『キャリア教育』の主なとらえ方

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ①人と関わることの大切さを理解させること ②自分の長所や短所に気付き、自分らしさを理解させること ③学習する意義を理解し、学習意欲をもたせること ④働くことの大切さを理解させること |
|---|

4 備考

基礎的・汎用的能力を次の言葉に置き換えてとらえています。

- 人間関係形成・社会形成能力・・・【人とかかわり活動する力】
- 自己管理・自己理解能力・・・【自分を見つめる力】
- 課題対応能力・・・【自分で考え行動する力】
- キャリアプランニング能力・・・【夢をつくりあげる力】